

問い合わせ先

菊池一族プロモーション室 ☎0968(25)7267

17代 菊池武朝 (1363・1407)

肥後守護 菊池武朝

武朝申し状によって、改めて吉野朝廷から九州南朝方の大将として認められた武朝は、良成親王と共に更に8年にわたって抗戦を続けました。最後は八代城を拠点にしていた征西府でしたが、とうとう万策も尽き、起死回生を果たせないまま降伏の道を選択。吉野の南朝朝廷も北朝方の和睦案を受け入れて、

1392(元中9)年、南北朝は合一を果たしました。

しかし、武朝は降伏直前に八代城を抜け出し、九州山地に潜んで反撃の機会を窺っていたようです。南北朝の合一を経て戦う理由を無くした武朝は、召喚に応じて厳罰覚悟で九州探題・今川了俊の下へ向かいます。ところが、用意されていたのは、幕府が認める肥後の領主である「肥後守護」の地位でした。敗戦の将でありながら、勝者である幕府に領主として認められると

いう大抜擢だったのです。これは、敵方から見ても、肥後における菊池氏の功績を無視できなかったため、または菊池氏を味方につけたかったから、などの理由が考えられますが、確かなのは、南朝方で菊池が最も名譽ある待遇を受けたという点です。

この時代、「家」を存続させるために、各地の武家はそれぞれの方法で生き残りを模索していました。有利と見える側を見極め、渡り歩く者。一族を分派させ、両陣営に仕える者。当時では当然の価値観でしたが、菊池一族が選んだのはそのいずれでもなく、自分たちが信じたことを貫き通すという生き方でした。先祖たちが命を賭して掲げた未来への想いは、動乱の終わりに「肥後守護」の地位として実ったのではないのでしょうか。

菊池武光公生誕700周年を記念し、連載を続けてきた「桜色の合戦図―菊池武光の軌跡―」ですが、今月が最終号です。1年間ご愛読いただき、ありがとうございました。



本シリーズは「菊池市史」を基に作成しています。

わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】

絵手紙「学びの道」展 夢美会 代表 村川尚子

上手に書くより、心を届けることに重きを置いて交流してまいりました。そんな一年間の集大成です。ぜひご来館ください。

期 間:3月10日(火)~29日(日)



フォト写真真展 代表 綾部宏一

会員8名による写真展です。日頃の努力の成果を発表するため、一人3点の写真作品を展示します。皆様のご来場をお待ちしています。

期 間:3月31日(火)~4月12日(日)

開館時間 午前9時~午後5時

休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池観光交流館

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

菊池氏発祥950年 戦国武将甲冑展

菊池神社で開催される「第4回菊池一族と延寿鍛冶展」記念特別展として、甲冑工房丸武産業の甲冑を展示、販売します。橋本以蔵さんによる菊池一族・城下の街並み絵画パネル展も同時開催。

期 間:3月28日(土)

~5月6日(火)(振休)

入場料:無料



写真や絵画などを展示しませんか。

菊池観光交流館では、展示コーナーに作品を出展する人を募集しています。詳しくは菊池観光協会までお尋ねください。

開館時間 午前10時~午後5時30分

休 館 日 なし(点検などで臨時的に休館する場合あり)